新
 知立小の歴史
 ② 現在地以前ーその
 2

		L.							
何年日	何周年	和曆	西厝	学4 (所2	交名 (主地)	何代且	校長名	沿革等	施股
23	22	明治28年	1895年	(現市當) (財富)	(尋問 祭 報 小場			6月 専常小学校を知立両西新地(現在は知立市新富) (現市営駐車場・旧市役所敷地一帯)に新築移転、高 等小学校を問屋場に移転、当時の学校長は大参晋也 先生	
24	23	明治29年	1896年	駐車場	学校路	r	r	5月 高等小学校組合村のうち花園村の組合を解く	
25	24	明治30年	1897年	IB .	ŧ)	r	t		
26	25	明治31年	1898年	市役所敷地一帯)	第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年 第一年			7月 知立町外11か村の総合解除、組合高等小学校 自然廃校 8月 知立町外4か村学校組合立第一高等小学校 開 校(4か村・上重原、長崎、年橋、駒場)	
27	26	明治32年	1899年		(現新館) (新富)			10月7日 高等小学校を知立町西新地37(現在は知立市新富)(現新地公民館から名鉄線路まで一帯)に 新築移転、当時の高等小学校長は松井鶴吉先生。	
28	27	明治33年	1900年		税割 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			制無(参称、※回の/画等小子は吹はな万輪自元主。 8月 小学校令(第3次)公布 尋常小学校4年(6歳~): 義務教育・授業料を徴収しな い 高等小学校2~4年(10歳~)	
29	28	明治34年	1901年		館から名鉄線路まで	Г			
30	29	明治35年	1902年		鉄線	Ī		当時の学校長は、小林新介先生	
31	30	明治36年	1903年		許ま	r	T		
32	31	明治37年	1904年		で 一 帯	H	t		11月 平屋一棟増築(82.5坪)
33	32	明治38年	1905年		Ü	H	-	8月 第一高等小学校に裁縫専修学校を附設。第一裁	,,
33	32	97/2004	19004			H	H	経専修学校と称す。	
34	33	明治39年	1906年		一条 (新富) (新富) (新富) (新富)	L		12月 町村合併により碧海郡知立町立高等小学校となる。第一最経専修学校を最経専修学校と改称。	
35	34	明治40年	1907年	所数地一帯) 「教室」 日本教 一種 中華 小学校	一帯) (現新地公民館から名鉄線路まで (新富)			1月 知立第一尋常小学校となる。 3月 小学校令一部改正 海外小学校名(成金): 議務教育 高等小学校名(12歳~)	
36	35	明治41年	1908年	裁缝専修学校第四尋常小学校	知立高等小学校 を 野海 事知立 母常 高等小学校	1	後藤 英基	4月 知立第一尋常小学校、知立高等小学校、知立第 四尋常小学校を結合、碧酒部加立尋高高等小学校と なる。(知立高等小学校を大阪、毎一零小学校で 被軍、第四尋常小学校を実教室とし、裁議事等学校を 本校に併設、後藤英基部代校教廷) 校車制定はこの頃か(資料焼失のため詳細不明)	11月 平屋増築(124.4坪)
37	36	明治42年	1909年	専尋尋 修常常	高 章	ı		₹	%——
38	37	明治43年	1910年	安小小校学学	小 富	ı			
39	38	明治44年	1911年	***	・ 小 を 学	2	38 86	4月 磯郎三藏校長就任	
40	39	明治45年	1912年	本東西校教会に	本	ı	三	12月 西教室多本校教地に移転	12月 西校舎を本校敷地内移
41	40	大正元年	1913年			ı	蔵		転竣工
42	41	大正3年	1914年	股 :: 杂新	新富			4月 東教室(来迎寺字外山5)(来迎寺尋常小学校) (後の来迎寺小学校)を分離	
43	42	大正4年	1915年	寺 字現	現	ı		(後の水をサーチル)と方面	
44	43	大正5年	1916年	· 亲迎寺字外山 5 新富(現市営駐車場・旧市役所敷	地	ı			
H				車場	民館	ı			
45	44	大正6年	1917年	in in	から	H	┞		
46	45	大正7年	1918年	投册	鉄線	3	石川	3月 石川半助校長就任	
47	46	大正8年	1919年	地	まで		半助	3月 尋常5年より中学校への受験を認める 4月 裁縫専修学校を廃し、知立町立知立実業補修学 校を附設(男子郎、女子郎の2部を置く)	
48	47	大正9年	1920年	帯	*	4	内藤	3月 内藤甚太郎校長就任	
49	48	大正10年	1921年		Ť	ı	甚太郎	11月 知立尋常高等小学校学校児童保護者会発足	
50	49	大正11年	1922年			ı	断		
51	50	大正12年	1923年			5	鈴木	5月 鈴木健雄校長航任	
52	51	大正13年	1924年			ı	健	4月 教室不足のため、二部授業	
H						6	雄平	2月 平野多郎校長就任	
53	52	大正14年	1925年				野多館	4月 補修学校、学則変更実施により碧海郡知立実業 補修学校となる。	3月 2階建て1棟竣工
54	53	大正15年 昭和元年	1926年			ı	-	7月 知立青年訓練所を併設	
55	54	昭和2年	1927年			١			
56	55	昭和3年	1928年			١			
57	56	昭和4年	1929年			١			12月 2階建1棟竣工
58	57	昭和5年	1930年			١			
59	58	昭和6年	1931年			١			
60	59	昭和7年	1932年			١			
61	60	昭和8年	1933年			ı			
62	61	昭和9年	1934年			١			
_						ı		7月 実業補修学校・青年訓練所を廃止し、知立町立	
63	62	昭和10年	1935年			١		/月 美楽情勝子校・青年訓練所を廃止し、知以可立 青年学校設置 二宮金次郎の石像寄贈される	
64	63	昭和11年	1936年			١			
65	64	昭和12年	1937年					3月27日 火災により2棟15枚室焼失 4月 本校、猿渡小、来迎寺小、町公会堂、神社記念 館に分散授業	
						•		A STATE OF	

新富時代① (旧市役所敷地·現市営駐車場一帯) (明治28年~)

明治28年、「碧海郡知立尋常小学校」が、問屋場から新富(当時は、知 立町西新地)(現在の市営駐車場一帯)に新築移転した。問屋場には、「知 立町外 12 か村学校組合立第一高等小学校」が宝蔵寺から移転した。



かつて残っていた尋常 小学校の大イチョウ



(尋常小学校の校門があった 方向から望む)



新富へ新築移転当時の平面図 (想像)



新富時代② (現新地公民館から名鉄線路まで一帯) (明治32年~)

明治32年、「知立町外4か村学校組合立 第一高等小学校」が、問屋場から新富(当 時は、知立町西新地、現在の現新地公民館 から名鉄線路まで一帯) に新築移転した。 その後明治41年、知立第一尋常小学校、 知立高等小学校、知立第四尋常小学校が一 つに統合され「碧海郡知立尋常高等小学 校」となり、後藤英基初代校長が就任した。 また、裁縫専修学校を本校に併設した。昭 和12年の火事で2棟15教室を消失す るまで、知立の教育の中心として、この地 で多くの卒業生を送り出した。西の職員室 の2階には色ガラスがはめ込まれ、教室に 七色の光が流れていたという。



大正5年校門より



大正5年 玄関前



体操風景



昭和9年 入学式



昭和9年運動会



大正5年 職員室



全校朝会



焼失前の学校平面図



昭和9年健康優良児表彰式



現在の様子 (新地公民館~名鉄)



公民館前に 校門近くに あった銀杏